

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

ここから2次方針期間開始

No.	基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績	R4協議会から特記事項
1	I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi.」	文化課及び各文化施設	文化振興基本方針で掲げている重点プロジェクトの一環として、市内の文化施設がそれぞれ発信していた情報をまとめ、よりわかりやすい情報紙を作成する。	市内の各文化施設が発信していた情報をひとつにまとめたWeb版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi.」を年6回発行する。	ホームページ閲覧件数 【月500件】	【決算額 0円】 【指標値実績 12,885件】 2カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干数紙媒体で配布した。令和2年度に引き続き、イベントカレンダー形式ではなく、各施設ごとのイベント案内とした。		【決算額 0円】 【指標値実績 17,332件】 2カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干数紙媒体で配布した。令和3年度に引き続き、イベントカレンダー形式ではなく、各施設ごとのイベント案内とした。	コロナ前はホールや施設のスケジュールが表の形で載っていたが、現在の伝えたいものを載せる形の方が見やすく情報誌としても充実している。多くの意見を集約しながら柔軟に“モアベター”を目指してほしい。 文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi.」自体の広報、周知も必要。
2	I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	地域の生涯学習情報の収集と発信	社会教育課	船橋市等が行っている、市民を対象とした生涯学習機会の情報を知る手だてがなかった為、平成11年度以来、社会教育課でとりまとめ1冊の冊子にまとめている。	行政が実施する生涯学習事業に加え、地域の大学や企業が実施する事業の情報を積極的に収集し、発信していきます。また、市民の更なる生涯学習事業の利用・参加を促進するため、情報を発信でき、かつ、市民が手軽に生涯学習情報を検索できるアプリケーション等の構築について検討していきます。	事業掲載数 【2,350事業】	【決算額 0円】 【指標値実績 1,191事業】 第64号（令和3年4月～7月） 352事業掲載 第65号（令和3年8月～11月） 421事業掲載 第66号（令和3年12月～3月） 418事業掲載		【決算額 0円】 【指標値実績 1,269事業】 第67号（令和4年4月～7月） 406事業掲載 第68号（令和4年8月～11月） 445事業掲載 第69号（令和4年12月～3月） 418事業掲載	現在の船橋市にとって、最も工夫と刷新を試み、注力すべき事業。訴求力のある発信＝広報活動が期待されている。“シンプル&リピート”を旨に熱量と共に取り組んでほしい。
3	I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	船橋市役所 特案係	商工振興課	平成26年度より、観光客誘致のため、YouTubeでドラマ仕立ての動画を制作し、公開している。動画で扱う観光資源は多様で、史跡、伝統芸能、鉄道網の充実などの他、市民の音楽活動が盛んであるという船橋の文化的特徴も紹介していくことになった。	市の観光PRドラマとして、船橋が誇るモノ・コトを紹介していく事業であり、住んでいると気づかない地元の良さや観光資源の掘り起しを行っていくものである。	動画再生回数		【決算額 0円】 【指標値実績 5,751回】 船橋市観光PRドラマ「特案係」の1～12話（番外編含む）が合計5,751回再生された。	当分は通用する船橋の魅力発信に繋がるコンテンツと考えられ、引き続き再生回数の上昇を目指した広報を期待する。内容は面白いが、これ自体、ほとんど見るチャンスがないため、ああ、これがあった！と思うことがあれば良いと思う。	
4	I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	ふなばしロケーションズ 「ふなロケ」	商工振興課	これまで各施設が行ってきた撮影対応を広報課に一元化して平成27年5月に事業開始し、同時にWEBサイトを設置した。令和3年度から、「ロケーションガイド ふなばし撮おりゃんせ」から、ふなばしロケーションズ「ふなロケ」に事業名を変更した。	船橋市内にある様々な魅力的なロケーションを活用し、テレビドラマや映画等の撮影に提供することで、シビックプライドを醸成するとともに、施設を有効活用し、当該施設に関わる市職員や市民のモチベーションを高めることを目的とする。	利用件数 【26件】	【決算額 0円】 【指標値実績 32件】 日本テレビ『THE突破ファイル』、BS-TBS『氷室想介の事件簿』などの撮影支援を行った。		【決算額 0円】 【指標値実績 51件】 TBS『100万回言えばよかった』、TBS『オールドルーキー』などの撮影支援を行った。ほかに、市内の人気ロケ地や映画『20歳のソウル』のロケ地を巡るコースなどを掲載した「ふなロケマップ」の発行や、撮影支援した作品のロケ風景や出演者のサイン色紙を展示する企画展を市内11か所で開催した。また、ホームページにおいて、撮影に協力いただける民間施設（事業者）を募集するページを新たに公開し、ロケ地の開拓を進めた。	
5	I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	魅力発信サイト FUNABASHI Style	広報課	平成28年3月のホームページ再構築に伴い、既存の市ホームページに混在していた、船橋の魅力を市内外に発信するコンテンツのみを独立させ、新ホームページを設置した。	「食べる」「見る」「遊ぶ」等の船橋の魅力を市内外に発信する。	市の情報をホームページで入手している人の割合(市民意識調査) 【18%】	【決算額 0円】 【指標値実績 27.0%】 「取掛西貝塚 国史跡指定」や「船橋のキウイ」など船橋の魅力を32記事作成し、公開した。		【決算額 0円】 【指標値実績 25.2%】 「取掛西貝塚の巡回展」や「20歳のソウル」などの記事を公開した。	FUNA.netと色々あるので、全てが繋がると良いと思う。
6	I 気づき始める	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	ロビーコンサート	文化課	平成5年3月、船橋吹奏楽団の木管五重奏が全日本アンサンブルコンテスト（社団法人全日本吹奏楽連盟主催）で金賞を受賞し、市役所ロビー（現在の美術コーナー）で記念コンサートを開催したことがきっかけとなり、同年7月から始まった。100回記念となった平成14年12月には、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター本庄篤子さんを迎え、ピアノ三重奏曲を演奏していただいた。平成19年6月には150回を迎え、平成24年1月には第200回、平成28年7月に第250回を実施した。	昼の憩いのひとときに、市民及び市職員にさわやかな音楽と安らぎを提供するとともに、音楽の生演奏に触れることによって音楽文化に関心を持ってもらう機会とするため、月に1回（8月を除く）、市役所1階ロビーで質の高い音楽の演奏会を実施します。	アンケートの満足度 【90%以上】	【決算額 340,737円】 【指標値実績 97.5%】 開催日：毎月第3水曜日（8月を除く） 開催回数：10回 出演者数：10組 16人 観覧者数：493人 特記事項：9月のロビーコンサートがコロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったことにより、出演者謝礼や調律代が減額となった。		【決算額 378,205円】 【指標値実績 96.6%】 開催日：毎月第3水曜日（8月を除く） 開催回数：11回 出演者数：11組 21人 観覧者数：733人 特記事項：	市役所に来る人に文化に触れるチャンスを提供でき、素敵な事業だと思う。市役所だけではなくいろいろなところでできると良いと思う。 市役所のロビーコンサート出演者が出演後に、船橋アリーナには出演機会があるようだが、それ以外には何も機会がない様子。ふれあいコンサートの会議等でロビーコンサート出演者を各公民館に紹介してほしい。また、市民文化ホール、きららホールのプログラム、また音楽祭など、集客が求められる事業との連携なども検討してみてもどうか。もう少し良い環境のステージで演奏会として出演できると出演者も嬉しいと思う。

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

ここから2次方針期間開始

No.	基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績	R4協議会から特記事項
7	I 気づき始まる	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課 【指定管理者：(公財)船橋市文化・スポーツ公社】	市民の文化芸術に対する理解を深め、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことを目的として開催する。また、普段茶華道センターに来る機会のない人にも、茶華道センターに立ち寄ってほしいと企画した。	各種教室事業の実施 (華道の世界・茶道の世界・子供茶道教室・囲碁入門子供教室・日本舞踊子供教室・外国人対象日本伝統文化体験教室・カジュアル茶道・書道教室) ①華道の世界は、初心者から経験者までを対象として、四季折々の花材を使いながら華道の基礎から応用までの技術の習得を目指す。 ②茶道の世界は各流派の立ち振る舞いや茶の点て方など実践的な作法の習得を目指す。 ③囲碁入門教室は、囲碁未経験者を対象に、囲碁の楽しさを教える。 ④日本舞踊子供教室は、小中学生を対象に礼儀作法から始まり古典音楽に合わせて手足の動作などを実践的な技術の習得を目指す。 ⑤子供茶道教室(ハッピーサタデー事業)は、小中学生を対象に、楽しいお稽古から日本文化の素晴らしさ・大切さを学び、また礼儀作法についても習得させることを目的とする。 ⑥日本伝統文化体験教室は、外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道や華道に親しむと共に、茶道・華道の基本的な知識を学び、初歩的な所作や技能を身につける。 ⑦茶室開放日は、茶室を無料開放し、茶室見学、茶会体験を行った。 ⑧カジュアル茶道は、より身近に茶道の所作に親しみ、本格的な茶道への入門となることを目指す。 ⑨書道教室は、小学生対象に書道の伝統と技術を学ぶことを目指す。 ⑩スクエア寄席は日本伝統芸能である寄席を楽しむ。	①～⑦ 教室参加者延べ人数 【3,000人】 ⑧ 観客数 【1開催100人】	①～⑦ 【決算額 4,056,950円】 【指標値実績 1,897人】 ①令和3年4月から令和3年9月まで、令和3年10月から令和4年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数606名 ②令和3年4月から令和3年9月まで、令和3年10月から令和4年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数889名 ③令和3年8月3回開催。参加者数9名 ④令和3年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数72名 ⑤令和3年6月～令和4年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数142名 ⑥令和3年度はコロナウイルス対策のため中止 ⑦令和3年4月～令和4年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回の計画、4回実施。参加者数179名 ⑧ 【決算額 68,000円】 【指標値実績 68名】 第1回令和3年8月28日(土) 参加者数32名 出演者 真打 柳亭小八 第2回令和4年3月3日(木) 参加者数36名 出演者 真打 柳亭こみち		①～⑩ 【決算額 5,029,990円】 【指標値実績 3,580人】 ①令和4年4月から令和4年9月まで、令和4年10月から令和5年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数798名 ②令和4年4月から令和4年9月まで、令和4年10月から令和5年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数1,540名 ③令和4年8月3回開催。参加者数45名 ④令和4年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数137名 ⑤令和4年6月～令和5年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数385名 ⑥令和4年度はコロナウイルス対策のため中止 ⑦令和4年4月～令和5年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回実施。参加者数491名 ⑧令和4年6月から令和4年10月まで、1期当たり5回開催。参加者数76名 ⑨令和4年4月から令和5年3月までの年2期開催。1期当たり12回開催。参加者数183名 ⑩ 第1回令和4年8月20日(土) 参加者数41名 出演者 真打 入船亭扇蔵 第2回令和5年3月2日(木) 参加者数67名 出演者 真打 古今亭蜀志ん	市役所に来る人に文化に触れるチャンスを提供でき、素敵な事業だと思ふ。市役所だけではなくいろいろなところでできると良いと思う。 市役所のロビーコンサート出演者が出演後に、船橋アリーナには出演機会があるようだが、それ以外には何も機会がない様子。ふれあいコンサートの会議等でロビーコンサート出演者を各公民館に紹介してほしい。また、市民文化ホール、きららホールのプログラム、また音楽祭など、集客が求められる事業との連携なども検討してみてもどうか。もう少し良い環境のステージで演奏会として出演できると出演者も嬉しいと思う。
8	I 気づき始まる	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	ふなばし市民活動フェア	市民協働課	市民活動団体が日々の活動内容を紹介することにより、これからボランティア活動を始めたい人が、市内の市民活動団体について知ることができるきっかけを提供するイベントとして、平成20年度より開催している。	地域へ第一歩を踏み出そうとする方々などに対して、市民活動やボランティア活動など様々な社会貢献活動に参画するきっかけの場を提供するためのイベントを実施している。	当日来場者数 【600人】	【決算額 357,700円】 【指標値実績 動画再生回数2,670回】 第13回ふなばし市民活動フェア ～ネットをつなぐ市民の輪～ ・開催日時 令和3年12月1日(水)～12日(日) ・参加団体数 45団体 ・内容 市民活動団体によるパネル展示、PR動画等の公開、そのほかオンライン企画 など		【決算額 622,511 円】 【指標値実績 参加者数 439人】 第14回ふなばし市民活動フェア つつながら～ひと×まち×しみりよく～ ・開催日時 令和5年1月13日(金)～2月4日(土) ・参加団体数 74団体 ・内容 市民活動団体によるパネル展示・ブース出展、PR動画等の公開、市民活動ボランティア体験 など	犯罪のない社会を実現するには市民活動団体の活動の積み重ねも重要なことである。
9	I 気づき始まる	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	船橋市バーチャル美術館	文化課	令和2年度、新型コロナウイルス感染症が流行し、「新しい生活モード」下で、市民が自宅にいながら文化・芸術体験ができる機会を提供するため、展示会場を360度カメラで撮影した映像などを掲載した市の美術専用サイト「バーチャル美術館」を開設した。	令和2年度市所蔵作品展「椿貞雄と清川コレクション」の展示会場を360度カメラで撮影し、音声ガイドや船橋市デジタルミュージアムと連携させた作品の高精細画像を搭載した「バーチャル展示室」をはじめ、市収蔵作家の紹介動画や展示会情報など市の美術作品や活動に関する情報をインターネット上で公開し、コンテンツの充実を図っている。	アクセス件数 【年5000件】		【決算額 264,000 円】 【指標値実績 4075件】 令和4年度市所蔵作品展の情報を公開	新しい美術展の模索としては素晴らしい成果を上げている。今後は、この360度カメラを意識した美術作品も出てくると思われる。	
10	I 気づき始まる	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	食育推進事業	保健所地域保健課	食育推進事業の一環である食文化の継承、食に関する知識の啓発を目的として令和2年度1月より市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開開始。令和4年度3月より郷土資料館との連携によるデジタルサイネージでの掲示、カレンダーの配布を行っている。	食育推進事業は、乳幼児から成人、高齢者に至るまで食に対する関心と理解を深め、一人ひとりが自分自身で健康を守り、食の大切さを知ることがを目的に啓発を行う事業である。行事食カレンダーは食育推進事業の一環として、各月の行事を記載したカレンダーとともに、ひなまつり、端午の節句、十五夜といった日本の伝統的な行事及び行事食について紹介し、食文化の継承や、食に関する知識の啓蒙、啓発を図っている。	ホームページ閲覧件数 【年3500件】	【決算額 0円】 【指標値実績 3614件】 行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開した。	【決算額 0円】 【指標値実績 3712件】 行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開、3月分は郷土資料館との連携によるデジタルサイネージ掲示、カレンダーの配布を行った。	普段何気なく取っている食事もきちんと統計が取れるようになると思ふ。季節ごとの食事も重要な日本人ならではの栄養価を実感するので、とても良い試みである。	
11	II 学び楽しむ	① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	船橋市文学賞/文学講座	文化課	市民の日常的な文学活動の活性化を通して、豊かな市民生活の創造に資することを目的とし、昭和63年に創設。 また、授賞式と懇談会を開催して選者と受賞者の交流の場を設けており、文学賞、佳作を受賞した作品は、「船橋市文学賞作品集」として編集し、有償頒布している。 船橋市文学賞選者により、一部門ごとに毎年度、講座(講習)を実施し、船橋市文学賞への募集への一助としている。	応募作品数 【150作品】	【決算額 2,491,821円】 【指標値実績 148作品】 【応募期間】 6月15日(火)～9月30日(木) 【応募作品】 148作品(小説39、児童文学28、詩44、短歌17、俳句20) 【受賞】 文学賞4 佳作13 ②文学講座(詩部門：中谷順子氏) 【開催日】 6月3日、10日、17日(木) 14時～16時 【会場】 中央公民館 【参加人数】 20名	事業目的と成果目標がより具体的に周知されても良いのではないかと。	【決算額 2,722,389円】 【指標値実績 141作品】 ①文学賞 【応募期間】 6月15日(水)～9月30日(金) 【応募作品】 141作品(小説31、児童文学22、詩51、短歌13、俳句24) 【受賞】 文学賞5 佳作9 ②文学講座(短歌部門：前田えみ子氏) 【開催日】 6月17日(金)、7月1日(金) 14時～16時 【会場】 中央公民館 【参加人数】 25名	誰もが芸術に触れ合うことのできるチャンスがあるのが素晴らしい。事業成果をどこまでアピールできているか、大切にしてほしい分野。	
12	II 学び楽しむ	① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	各種芸術文化事業の主催及び共催	文化課	昭和53年箏・三絃・尺八の愛好家により、邦楽の普及を目的として船橋市三曲協会が結成され、以後毎年三曲祭を開催している。(平成29年度第40回) また、共催事業として、伝統文化を身近に感じてもらうため公民館にて箏・三絃・尺八による芸術劇場を実施。	伝統的な邦楽器として最も一般的な楽器である箏・三絃(三味線)・尺八からなる三曲を市民が鑑賞し親しんでもらうとともに、愛好者に発表の場を設けることで芸術文化の振興に寄与する。	来場者数 【300人】	【決算額 0円】 【指標値実績 0】 令和3年6月6日(日曜日) 13時30分開演～17時15分終演 新型コロナウイルスの感染拡大防止の理由により、中止となった。	【決算額 103,400円】 【指標値実績 192人】 令和4年6月12日(日曜日) 13時30分開演(13時開場) ～ 17時00分終演 出演：船橋市三曲協会会員ほか 入場料：無料 参加者：120人 主催：船橋市三曲協会、船橋市教育委員会	高齢者から構成される団体に対して、抜本的な支援の在り方を検討してほしい。古くからの芸能の継承。現代的な奏法があるものを見せるコンサートも必要。	

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

ここから2次方針期間開始

No.	基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績	R4協議会から特記事項
13	Ⅱ学び楽しむ	① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	ふなばし市民まつり	商工振興課	昭和43年度より産業まつりを「市内の商業、工業、農業の優秀な生産品と観光の現況を広く市民に紹介し、市民の協力と理解を得ながら実施されていくものであり、これらの産業の躍進ぶりを広く紹介し、商品販路を広げ、産業の振興を図り、併せて市民生活を向上させていくものとして」開催するようになった。平成15年度より名称を「市民まつり」として市民主体を指し、開催されている。	「さまざまな産業がいきているまち・ふなばし」で学び、働き、暮らす人たちが力を合わせ、皆で『まつり』をつくり、参加することにより「活気とにぎわいのあふれるふるさと・ふなばし」を実現するため、ふなばし市民まつりを開催する。	来場者数 【733,000人】	【決算額 円】 【指標値実績 -】 東京2020オリンピック・パラリンピック開催が令和2年度から令和3年度に延期し、警察の配置や警備員の確保が難しく、ふなばし市民まつりを安全に開催するための十分な体制を整えられないことや、時期を変更して開催するとしても、市内各地域の行事との調整、施設の確保等が困難であることに加え、新型コロナウイルスの感染が拡大している影響により中止した。		【決算額 0円】 【指標値実績 -】 酷暑による参加者・来場者の安全対策のため、実施時期を夏から秋に変更し開催することを決定したが、イベント開催制限や各種ガイドラインを踏まえ、参加者・来場者が安心・安全に楽しめる市民まつりの開催は困難と判断し、中止とした。	産業まつりは、船橋が昔から行っている祭りであり、継承が望ましい。
14	Ⅱ学び楽しむ	① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	ふなばし三番瀬クリーンアップ	環境政策課	三番瀬の清掃と自然観察会等を市民・事業者・市民団体・行政とが協働して行うことにより、三番瀬に対する関心と理解を深め、もって三番瀬の保全を図る事を目的として平成13年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年10月中旬～下旬に、ふなばし三番瀬海浜公園前の砂浜の清掃活動を行う。また、日本大学生産工学部によるマイクロプラスチック調査や、小学生を対象に募集した絵画の展示、参加団体が企画するイベントも併せて実施している。	参加者数 【800人】	【決算額 190,747円】 【指標値実績 466人】 【開催日 10月23日(土)】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、2年ぶりの開催となったが、参加者数は令和元年度と比べ約250人減少した。		【決算額 215,669円】 【指標値実績 654人】 【開催日 10月22日(土)】 令和4年度は昨年度と比較し、清掃活動後に行う参加団体によるイベントが増えたこともあり、173名増であった。	三番瀬は未来に続く素晴らしい遺産。歴史などを博物館で展示などと並べて自然を大事にすることも学べる素晴らしい。
15	Ⅱ学び楽しむ	① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	ふなばし環境フェア	環境政策課	市民、事業者及び行政それぞれが、環境意識を高め、健全で恵み豊かな環境の実現を目指すことを目的として平成10年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年6月に、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館において、出展団体が環境に関する活動内容をパネルで紹介したり、工作・体験コーナーを通して参加者に環境への関心を深めるための環境啓発を行っている。	参加者数 【1,200人】	【決算額 592,756円】 【指標値実績 548人】 【開催日 6月26日(土)】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時間を3部制に分け、完全入替の事前申込制にした。		【決算額 755,158円】 【指標値実績 2,413人】 【開催日 6月18日(土)】 昨年度の開催時間の3部制をやめ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じた上で自由入場とした。また、25回目の節目となる開催を記念して10月10日(月・祝)に記念講演会を開催した。	環境意識を高める。これは船橋に住んでいる人なら誰でも関心を持っていただきたい。
16	Ⅱ学び楽しむ	① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	セミのぬけがら調査	環境政策課	夏の代表的な昆虫であるセミのぬけがらを調べることにより、身近な自然への関心を深め、自然環境保全思想の醸成を図ることを目的に、平成16年度から実施している。	下記の調査場所での調査を行う。セミのぬけがらの集め方、分類方法を実際に行いながら学び、最後に標本を作成する。 【調査場所】 ①運動公園 ②アンデルセン公園 ③行田公園	参加者数 【140人】	【決算額】 72,530円 【指標値実績】 103人 【開催日】①運動公園 8月6日(金) ②アンデルセン公園 8月11日(水) ③行田公園東 8月17日(火) ④行田公園西 8月20日(金) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回あたりの定員を少なくする必要があった分、1コース増やしてイベントを実施した。		【決算額】 101,780円 【指標値実績】 63人 【開催日】①運動公園 8月5日(金) ②アンデルセン公園 8月9日(火) ③行田公園東 8月19日(金) ④行田公園西 8月23日(火) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回あたりの定員を少なくする必要があった分、1コース増やしてイベントを実施した。	これは主な参加者の年齢層なども記載してほしい。
17	Ⅱ学び楽しむ	② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	郷土資料を活用した事業	西図書館	昭和25年から郷土資料の収集を続け、現在多数の貴重資料(古文書・浮世絵等)などを所蔵している。その存在を周知し、郷土の歴史・文化研究への活用を促進するために事業を行っている。	西図書館郷土資料室で所蔵する貴重資料(古文書・浮世絵等)などを活用した事業を行う。	実施回数 【12回以上】	【決算額 円】 【指標値実績 -】		【決算額 0円】 【指標値実績 17回】 ・貴重資料を紹介する展示を、月に1度資料を変えて行った。 ・西図書館ギャラリーで貴重資料を利用した展示を2回行った。 ・船橋市民ギャラリーで貴重資料展示を行った。 ・貴重資料の古文書を解説する講座を行った。 ・ボランティア団体「船橋市西図書館の古文書を読む会」が翻刻した古文書の史料集を刊行し、県内図書館および関係各所へ配布した。	地道な作業が続くが、展示など、有意義なことが多い。
18	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	ハッピーサタデー事業	青少年課	完全学校5日制実施に伴い、自宅で過ごす子供たちの活動場所の提供として事業が始まる。	原則毎月第3土曜日を「ふなばしハッピーサタデー」の日として、市内26公民館が地域の団体、町会・自治会、学校と連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動に親しむことを目的に、様々な事業を実施している。	【12回以上】	【決算額 2,025,633円】 【指標値実績 5202人】 開催回数：198回 特記事項：新型コロナウイルスの感染拡大の防止に努めながら事業を実施したため、令和2年度に比べ事業参加者事業数が大幅に増加した。		【決算額 2,577,556円】 【指標値実績 13,520人】 開催回数：256回 特記事項：コロナ対策により不特定多数の参加が見込まれる事業は実施できなかったが、他の事業については実施することができたため令和3年度に比べ開催回数及び参加者数が増加した。	児童が集まることのできる場所。公民館がそれを担うのは良いことだと思う。そこで昔の発表作品のアーカイブなどを見られるとなお良い。
19	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	楽器貸与事業	指導課	「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、昭和56年度より開始した。貸与年数9年を経た楽器については指導課備品から学校備品へ保管転換を行っていたが、平成28年度からは保管転換をせず指導課備品として扱うこととなった。	音楽科の授業を基盤として、一層充実した音楽活動を展開することにより、音楽部員のみならず、全校児童生徒の音楽環境の向上を図る。また、「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、地域や学校行事の中で、生活に根ざした音楽活動を展開することによって、児童生徒に学校生活の楽しさを味わわせ、情操の涵養を図る。平成30年度の貸与楽器数は75台であり、今までに2058台の貸与ができています。	貸与希望校数に対する貸与率 【100%】	【決算額 0円】 【指標値実績 0%】 コロナ禍等で財政状況が大変厳しく、予算が付かなかったため。今後を見据え、修繕して使用できるようになる楽器を活用できるよう、令和3年度は市内全校の楽器の過不足数と楽器の状況の調査を行った。	楽器提供の事業は、各自治体でも増え始めています。再開を期待しています。また、この機会に日本の伝統楽器の追加も検討されてはいかがでしょうか？	【決算額 9,398,400円】 【指標値実績 67.5%】 新規購入分については、希望した40校のうち27校分を購入し楽器を配置した。その他、令和4年度は新たに、貸与楽器とは別に、学校備品の楽器の修繕を計画的に進め、学校間での配置転換を行った。	楽器は高価なため部活動の中で個人が購入するのは大変なため、今後も貸与事業は必要。継続してほしい。古くて使えなくなってるものもあると聞いているので、楽器修理も計画的にお願いしたい。未来のための投資だと思う。事業成果を市民にむけての更なる共有を図ってほしい。

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

ここから2次方針期間開始

No.	基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績	R4協議会から特記事項
20	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	造形作品展	指導課	絵画を中心とした平面作品は、巡回展・アート展等で発表していたが、立体作品の発表の場がなかった。中学校美術部会では、独自に中学校美術科作品展を勤労市民センター等で開催していた。平成5年2月に船橋市民ギャラリーがオープンしたのをきっかけに、小中学校合同の造形作品展となった。平成6年度、小中学校が統一した展覧会名「船橋市小・中・養護学校造形作品展－子供たちの色・形・夢－」として行った。	絵画作品を中心とした展示や発表の場は各種コンクールを中心に極めて多いが、立体表現の発表の場は少ないことから、立体造形の表現力の育成も重視していかなければならない。そこで、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の立体作品の展示の場を設け、立体作品の教材や題材についての研究の機会とする。また、児童生徒の造形意欲や鑑賞力の向上を目指しながら、船橋市の図画工作・美術教育の一層の充実を図っていく。	【7,500人】	【決算額 0円】 【指標値実績 0人】 本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民ギャラリーでの開催を中止とし、オンラインによる開催となった。個々の作品を見やすくするために特設サイトによる実施をした。 開催期間:令和4年3月1日～3月31日	16の「いけばな展」と同様の提案	【決算額 369,780円】 【指標値実績3,997名】 令和5年1月30日～2月6日の期間で市民ギャラリーにおいて開催した。本年度は、新型コロナウイルス感染症の対応も考え、オンラインによる開催も行った。(市のホームページからの閲覧回数は2,120件であった)	子供が自由にいろいろなことを表現できる場を提供するこの事業はぜひもっと増やしていけるといい。
21	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	夢・アート展	指導課	船橋市内の公立小・中・特別支援学校の児童生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ代表作品(各学校6～8点)を展示する。この催しは、昭和40年代の「小・中学校写生会・巡回展」を発展させたものであり、平成5年度に現在の名称「夢・アート展」に変更し、平成11年度まで「船橋市民ギャラリー」で開催。平成12年度からは、会場を「アンデルセン公園子ども美術館」に移し開催。	児童生徒の夢や願いを多様な平面作品に表すことを通して、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図る。各校の作品展と夢・アート展を通して、児童生徒の鑑賞力の向上と指導者の作品評価及び指導法の改善に資する。	来場者数 【5,000人】	【決算額 211,569円】 【指標値実績 4,982人】 令和3年7月22日～8月5日で開催した。		【決算額 211,569円】 【指標値実績 3,368名】 令和4年7月23日～8月4日で開催した。	子供とアート。絵と音楽。いろいろな組み合わせが考えられる。
22	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	小・中学校音楽教育合唱委託事業	指導課	小中学校合唱発表会は令和元年度で第33回を迎える。昭和62年から発表会の中でプロの合唱団による鑑賞会を実施している。	プロの演奏の鑑賞の機会を設けることにより、その素晴らしさを感じさせ、情操教育の充実を図る。	公演数 【30分公演×2回】	【決算額 0円】 【指標値実績 評価不能】 新型コロナウイルス感染症対策で小中学校合唱発表会を中止としたため。		【決算額 0円】 【指標値実績 評価不能】 新型コロナウイルス感染症対策で小中学校合唱発表会の実施を縮小し、合唱委託を中止としたため。	児童生徒が正しいきれいな発声によるプロの合唱を聞くことは、合唱の発声を学んだり、素晴らしさを体験する唯一無二のチャンス。コロナ後には是非実施してほしい。子供は小学校からを考えていると思うが、赤ちゃんの時から音楽に触れ合う機会を作ることでも一考してほしい。お母さんも気兼ねなく来られる場所。それが船橋の未来を作るような気がする。
23	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	学校音楽鑑賞事業	指導課	昭和58年度から実施している。開催費用の1/3は県の補助を受け、2/3を市の負担で支出している。保護者の負担はない。平成15年より文化課から指導課の事業となった。	小中学生の情操の涵養を図るため、優れた音楽を鑑賞する機会を提供し、もって芸術活動への参加の気運を醸成する。	実施校数 【9校】	【決算額 4,736,000円】 【指標値実績 8公演(8校)】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学校に招き演奏していただくことで、音楽の楽しさ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めることにつなげることができた。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により9校中1校から辞退の申し入れがあった。		【決算額 5,328,000円】 【指標値実績 9公演】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学校に招き演奏していただくことで、音楽の楽しさ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めることにつなげることができた。	船橋市の小中学校ではクラブ活動での管弦楽部や吹奏楽部が盛んなため、可能であればもう少し公演数を増やして巡回できると児童生徒たちに良い刺激が生まれると思う。千葉交響楽団との連携は非常に重要。地域密着で親しみを持ち将来の鑑賞者に繋がり、よい循環を生む。積極的に連携プログラムを増やして行くといのではないか。赤ちゃんの時から音楽に触れ合う機会を作ることでも一考してほしい。お母さんも気兼ねなく来られる場所。それが船橋の未来を作るような気がする。
24	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	小・中・特別支援学校書写展覧会	指導課	千教研書写部会・中学校国語部会の協力を得て、各学校において校内書写展覧会を実施した上で、各学校の各学年1点(小学校6点、中学校3点、特別支援学校9点)の書写作品を、市民ギャラリーにおいて展示している。・小学校1・2年生は硬筆作品、3年以上、及び中学校が毛筆の作品、原則として、授業で学習した教材が望ましいとしている。平成10年度から18年度まで総合教育センターで行っていたが、平成19年度より市民ギャラリーを会場としている。	国語科書写指導の一環として展覧会を行い、書写に対する意欲の高揚と技術の向上を図る。	来場者数 【2,000人】	【決算額 371,629円】 【指標値実績 約1,565名】 開催日:令和4年1月18日(火)～1月23日(日) 会場:船橋市民ギャラリー 来場者:1,565人 感染症拡大予防対策を講じた上で、通常開催することができた。		【決算額 394,483円】 【指標値実績 約2,007名】 開催日:令和5年1月17日(火)～1月22日(日) 会場:船橋市民ギャラリー 来場者:2,007人 感染症拡大予防対策を講じた上で、通常開催することができた。	書き写すという内容は字を書くことを指す。子供達にとってもいい機会。物事の思考にも役立つ。

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

ここから2次方針期間開始

No.	基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績	R4協議会から特記事項
25	Ⅲ育みつながる	① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	船橋市文化部活動指導員派遣事業	指導課	国が平成29年4月に部活動指導員の制度化を行い、その後、県のモデル事業を経て、各市町村での実施が可能となった。船橋市では、平成31年度から運動部活動指導員の派遣を、令和2年度から文化部活動指導員の派遣を開始した。	中学校の文化部活動に所属している生徒への専門的な指導や教職員の仕事改革を行うため、学校教育法施行規則第78条の2に基づき「中学校におけるスポーツ、文化科学等に関する教育活動（学校の教育課程として行われるものを除く）に係る技術的な指導に従事する」部活動指導員を学校の職員として配置する。	派遣指導員数 【10人】 中学校数の3/1以上	【決算額 1,347,167円】 【指標値実績 9名】 コロナ禍で、部活動の制限がある中、指導員の派遣人数や勤務時間を増やすことができた。 配置校・人数（部活動名） ・宮本中学校・2人（管弦楽部・箏曲部） ・海神中学校・3人（吹奏楽部・合唱部、華道部） ・三山中学校・1人（吹奏楽部） ・若松中学校・1人（吹奏楽部） ・前原中学校・1人（管弦楽部） ・飯山満中学校・1人（合唱部）	専門性が高く優れた指導員を学校に派遣することは、非常に重要な事業。指導員の質が大事なことで、指導方法の評価を行うなどしてよりよい指導員を育成するなどの方策も取られていると、長期的な成果が期待されると思う。	【決算額 2,366,382円】 【指標値実績 10名】 指導員の派遣人数や勤務時間を増やすことができた。 配置校・人数（部活動名） ・宮本中学校・2人（管弦楽部・箏曲部） ・海神中学校・2人（合唱部、華道部） ・三山中学校・1人（吹奏楽部） ・若松中学校・1人（吹奏楽部） ・古和釜中学校・1人（吹奏楽部） ・葛飾中学校・1人（書道部） ・御滝中学校・1人（コンピュータ部） ・坪井中学校・1人（茶道部）	評価対象事業No.3文化活動普及事業とタブらる部分もある。現場の教員との連携が大切で、学校の教育現場であることを肝に銘じてもらいたい。その上で子供を指導してもらいたい。実施後の成果や問題点をきちんと検証することが大切。更なる充実を期待する。 指導員の人数や時間が増えたのはとても良いことだと思う。市全体に公平に派遣することを可能にする専門分野を考慮にいった最適人数は何人ぐらいなのか、また指導者の一定レベルの確保、研修などをどうして行くのかというプランを立てて実行して行くことと長期的な人材育成に繋がると思う。
26	Ⅲ育みつながる	② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つ仕組みの構築	文化団体意見交換会	文化課	平成28年度に「文化振興基本方針」の策定にあたり、市民より意見を聴取するため、「子供・青少年に対する取組」をテーマに社会教育関係団体に登録のある文化団体による意見交換会が開催された。そこで、各団体の情報の共有や意見交換の場が必要であるとの共通認識を持ったことから、継続的に文化団体の意見交換会を実施し、文化振興の体制づくりを推進することとした。	意見交換会を通じて、文化団体間の連携・協力を推進し、市民が主体となって本市の文化振興を図る一助とする。	参加団体数 【25団体】	【決算額 0円】 【指標値実績 10団体】 出席者 16名 開催日時 令和3年7月20日(火) 開催場所 船橋市役所11階 大会議室	文化活動の多様化、団体構成員の高齢化など、様々な問題を抱える文化団体からの意見は、「基本方針」とも深くリンクすると考えられ、共有の機会を持たれてもよいのではないだろうか。 市の姿勢として常に市民からの意見を聴くことは大事です。第二次船橋市文化振興基本方針の資料編の4、アンケート調査結果と課題分析のⅡ、課題分析（1）課題の整理に出てるような問題点を市民と共に少しづつでも解決できればいいなと思います。	【決算額 0円】 【指標値実績 12団体】 出席者 16名 開催日時 令和4年5月30日(月) 開催場所 船橋市役所11階 大会議室	各文化団体はコロナ禍で3年の間活動の自粛や活動中止に追い込まれて来た。いざ再開しようにも会員は減少し、残った会員も高齢化で解散せざるを得ない団体が数多く出ている。それは市の芸術文化の衰退を招き、ひいては社会の衰退にも繋がる。合唱団体などにそれが顕著に現れている。今のところ効果的な対策は見あたらない。この先元気の回復の世代が引退するとうなるのかという懸念が尽きない。 そのうえで、文化団体意見交換会については、団体が集まるインセンティブというメリットについても検討した方がよい。たとえば、最近の文化行政の動向についてのレクチャーがあるとか、他の自治体等での事例の紹介がある、など。 また、ぜひいろいろいる職種の人と横の繋がりなどができると良い、一つでもより良い形に変化することがあったら素晴らしいと思う。簡単ではないと思うが、その少しづつの上に変化が生まれるのではないかなと思う。 関連事業を事前に実施する事などは有意義であり、担当課が明確な目的と目標を提示した上で実施されることを期待する。
27	Ⅲ育みつながる	② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つ仕組みの構築	学習成果の活用支援	社会教育課	自主的に「何かを学びたい、体験したい」と思っている人と、自分の技能や知識をボランティアとして生かしたいと思っている人とを結び付け、生涯学習の機会を増加させるため、平成13年度より開始した。	サークル活動や講座受講などで学んだことを実際に活かしたり、自分もつ技能や知識を活かしたいと思っている人と、学びたいと思っている人とを結び付け、学び合いを促進する仕組みの構築について検討していきます。	登録者数 【65人】	【決算額 0円】 【指標値実績 53人】 講座実施件数 1件 講座参加人数 5人		【決算額 0円】 【指標値実績 54人】 実施件数 4件 参加人数 123人	
28	Ⅲ育みつながる	② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つ仕組みの構築	姉妹都市交流事業	国際交流課	昭和61年11月7日に本市にとって最初の姉妹都市提携をアメリカ・ハイワード市と結び、デンマーク・オーデンセ市(平成元年4月6日)、中国・西安市(平成6年11月2日)とそれぞれ姉妹・友好都市提携を結んできた。これらの提携に基づいてテーマ毎の交流を行っている。	船橋市民を中心に広く国際交流親善についての理解と関心を高め、かつ、積極的に地域に根ざした各種交流事業を行うことを目的とする。	参加人数 【500人】	【決算額 1,528,254円】 【指標値実績 500人】 特記事項1 ハイワード市姉妹都市提携35周年記念事業 ①記念式典【250人】 ・インターナショナルフェスティバルに併せて実施 ・ハイワード市長もオンラインで参加、ふなばしシャッフルの演奏など ②食べようハイワード ③記念写真展 ④記念誌の発行 特記事項2 「船橋&ハイワード姉妹都市バーチャル交流会」（無料）を実施 【5回 250人】	R2年11月から「船橋・ハイワードバーチャル交流会」を隔月で開催している。R4年3月には「短期語学研修」でハイワードに留学した高校生に体験談を語ってもらった。7月には「カルフォルニアワイン講座」を実施。10月8日には「船橋・ハイワード両市の環境問題」について、第9回になる11月20日には「船橋・ハイワード両会議所友好35周年記念イベント」を企画している。	【決算額 28,688円】 【指標値実績 286人】 特記事項1 「船橋&ハイワード姉妹都市バーチャル交流会」（無料）を実施 【3回 213人】 特記事項2 R4決算額は、姉妹都市交流関係者へ送付しているグリーンディングカード代。	R5年1月28日に開催した「第10回船橋・ハイワードバーチャル交流会」では、両市の環境対策担当者から、その対策と現状を学んだ。 船橋市長・市議会議長並びに船橋商工会議所を含む代表団が8月22-25日にハイワード市を訪問し視察並びに交流事業に参加した。 国際交流機関として様々なものがあるが、若い人たちなどにも積極的に参加できるチャンスを与えて上げてほしい。

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

ここから2次方針期間開始

No.	基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績	R4協議会から特記事項
29	Ⅲ育みつながる	②文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための仕組みの構築	市民主体の国際交流支援事業、相互理解促進事業	国際交流課	市民を中心に草の根で国際交流親善を図るとともに、外国人住民との相互理解が深まるような事業を協会と協力して実施している。	市民主体の国際交流促進と、市内に住む人同士の相互理解を深めるため、インターナショナルフェスティバル、日本語ひろば、国際理解セミナー、文化交流事業などを行う。	参加人数 【900人】	【指標値実績 5170人】 特記事項1 インターナショナルフェスティバル2021、カーネーション&ひまわりフェア【5000人】 アンデルセン公園にて実施 特記事項2 日本語教室、日本語ひろば等【170人】	R4年10月23日にインターナショナルフェスティバルをアンデルセン公園にて実施予定。船橋市国際交流協会設立35周年イベントを同日同会場にて開催予定。 現在は市内に住む外国人も多い。多様な人たちが、誰ひとり取り残されず、活躍できる社会を目指さなければいけない。人権や教育はもちろんですが、文化においても交流し尊重することが大事です。SDGsにも通じる理念です。	【指標値実績 5652人】 特記事項1 インターナショナルフェスティバル2022【5000人】 アンデルセン公園にて実施 特記事項2 日本語ひろば等【439人】	R5年10月22日にインターナショナルフェスティバルをアンデルセン公園にて実施予定。国際交流はとても重要。日本にいる外国の方々との交流は社会包摂そのもの。市民の方々に気づきを与える機会にもなる。
30	Ⅳ活かし伝える	①各地域の有形・無形の文化資源を活用する取組	ふなばし市民力発見サイト	市民協働課	様々な知識、経験や技能を持つ個人の情報を収集、発信することを目的に平成27年3月に開設。同年10月に、それまで市民活動団体の情報を収集・蓄積していた「ふなばし市民活動情報ネット」を統合し、現在は個人及び団体の情報が掲載されている。	市内において、様々な知識、経験、技能等を持つ、若しくは公益的な活動を行う個人又は団体に関する情報を、市が収集・蓄積し、インターネットを介して提供することにより、市民力の活性化を目指す。発見サイトに登録すると、登録者（団体）にIDとパスワードが付与され、団体の概要やイベントの告知、会員の募集等の記事の掲載や、団体のホームページへのリンクを貼ることにより、サイト内で情報発信ができる。	年度未登録件数 【622件】	【決算額2,571,800円】 【指標値実績 年度未登録件数 599件】 インターネットを活用した情報発信のツールを提供することにより、地域の情報を可視化することができた。	【決算額 1,584,000 円】 【指標値実績 年度未登録件数 593件】 インターネットを活用した情報発信のツールを提供することにより、地域の情報を可視化することができた。	更なる拡充を期待する。 これもいろいろなところで入り口があると良い。	
31	Ⅳ活かし伝える	①各地域の有形・無形の文化資源を活用する取組	船橋市デジタルミュージアム	文化課	平成28年度公益財団法人図書館振興財団提案型助成事業の採択を受け、西図書館が所蔵する貴重資料の保存と利用の両立、及び文化課が所管する美術品の一部をデジタル化しインターネット上で公開するために、「船橋市デジタルミュージアム」を開設。その後、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の資料を追加、拡充を進め、令和2年4月にリニューアル公開した。令和4年度より本事業の取りまとめを文化課が引継ぐ。	図書館・文化課・博物館が所蔵する資料や美術品等をデジタルアーカイブ化し、インターネット上で公開する「船橋市デジタルミュージアム」を管理する。また、市民の生涯学習活動など幅広い用途で活用されるよう、令和4年度以降、デジタルミュージアムに参加する各施設において資料情報の充実を図っていく。	年度内総アクセス数（PV） 【年間35万アクセス】	【決算額 1,396,500円】 【指標値実績 1,010,481回】 コンテンツの追加： 「割烹旅館・玉川」「吉澤野球博物館資料」「船橋の文化財」の 카테고리・バナーを作成、資料目録を作成。 ※令和4年9月から新システムへ移行し、資料目録を各自追加することが可能になった。	【決算額 1,396,500円】 【指標値実績 1,010,481回】 コンテンツの追加： 「割烹旅館・玉川」「吉澤野球博物館資料」「船橋の文化財」の 카테고리・バナーを作成、資料目録を作成。 ※令和4年9月から新システムへ移行し、資料目録を各自追加することが可能になった。	非常に重要な事業であり、事業継承は必須。スケジュール感を意識した更なる注力が求められる。 魅力的なコンテンツ。もっと活用される機会を作ることが望まれる。未来に繋がるミュージアムだと理解している。	
32	Ⅳ活かし伝える	②地域の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	取掛西貝塚保存事業	文化課	平成26年に起こった海老ケ作貝塚損壊事件を受け、重要な遺跡を後世に伝えるため、開発等に先行して遺跡を保護する施策に積極的に取り組む。	重要な遺跡を後世へ伝えるため、調査・分析・研究を行って遺跡の価値を明らかにし、市・県・国指定史跡化を積極的に回り、開発等に先行して保護する。	普及事業回数 【5回】	【決算額 3,382,637円】（取掛西貝塚保存事業のみ） 【指標値実績 11回】 取掛西貝塚講演会1回（参加者総数145人）・遺跡見学会1回（参加総数270人）、講師派遣等9回（参加者総数303人）	【決算額 4,662,163 円】 【指標値実績 11回】 取掛西貝塚講演会2回（参加者総数390人）、講師派遣等9回（参加者総数415人）	地味であるが非常に重要。	
33	Ⅳ活かし伝える	②地域の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	埋蔵文化財保護事業	文化課	文化財保護法に基づき、遺跡内で計画された開発等工事と埋蔵文化財保護の調整を行い、適切に埋蔵文化財を保護する。	埋蔵文化財の保護のため、遺跡で開発等工事を計画している事業者と、可能な限り遺跡を現状で保存するため、遺跡が破壊される範囲が最小限になるよう、事前に調整・協議を行う。やむを得ず遺跡が破壊される場合は、発掘調査を実施し、整理・分析を行って報告書を刊行し、記録を後世に伝える。	発掘調査件数 【35件】	【決算額 183,091,366円】（埋蔵文化財調査費） 【指標値実績 43件】 本調査15件、確認調査28件 発掘調査報告書刊行9冊	【決算額 189,045,938 円】 【指標値実績 33件】 本調査8件、確認調査25件、発掘調査報告書10冊	地味であるが非常に重要。事業継承は必須。	
34	Ⅳ活かし伝える	②地域の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	文化財調査事業	文化課	文化財としての価値等を確認するとともに、将来に伝えていくことを目的に記録保存を行う必要がある。	指定・未指定文化財を調査し、その内容や歴史を記録する。保存が困難なものについては、記録保存を行い、後世に資料を残す。保存が可能なものについては、指定等を含む保護処置について文化財審議会に諮るために、調査を実施し、資料を作成する。	未指定文化財の調査件数 【9件】	【決算額 0円】 【指標値実績 4件】 市内の神社や無形文化財等（水神祭・八剱神社の陰祭り・三山のオビシヤ・古和釜のマアチ）の内容を調査することができた。	【決算額 0円】 【指標値実績 4件】 市内の無形文化財等4件を調査した。	地味であるが非常に重要。事業継承は必須。	
35	Ⅳ活かし伝える	②地域の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	文化財保護事業	文化課	指定・登録文化財の伝承や維持に、多額の費用がかかることから、伝承者や所有者の要望により、維持管理や修繕などの費用の一部補助を行う。	文化財を保護し、将来へ残すことを目的とし、指定・登録文化財及びその他の文化財の状況、実態調査結果に基づき、保護についての指導等を行う。 また、指定・登録文化財へ管理伝承事業、修理等についての補助金を交付する。	文化財への補助 【32件】	【決算額 1,711,050 円】 【指標値実績 25件】 文化財管理伝承費補助金22件 文化財修理等事業補助金3件 （「東葉高等学校正門（旧近藤家住宅長屋門）」瓦修繕工事、「梯子乗りと木遣り歌」梯子等用具購入、「高根町神明社の神楽」鼓修繕	【決算額 1,584,660 円】 【指標値実績 24件】 文化財管理伝承費補助金22件 文化財修理等事業補助金2件	地味であるが非常に重要。事業継承は必須。	